

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ジーダット
 コード番号 3841 URL <http://www.iemat.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 石橋 眞一
 (氏名) 増山 雅美

TEL 03-5847-0312

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,083	△34.3	△63	—	6	△97.9	△5	—
21年3月期第3四半期	1,649	—	264	—	294	—	74	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△282.14	—
21年3月期第3四半期	3,890.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	2,733	2,403	87.9	125,183.74
21年3月期	2,826	2,447	86.6	127,482.06

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,403百万円 21年3月期 2,447百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450	△30.1	△100	—	20	△92.4	0	△100.0	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他
- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 有
- (注) 詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	19,500株	21年3月期	19,500株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	300株	21年3月期	300株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	19,200株	21年3月期第3四半期	19,200株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年3月期の連結業績予想については、当社が現在入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は業況の変化等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4頁【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府主導による緊急経済対策の効果等により一部には景気回復の兆しも見られますが、雇用情勢の悪化を背景に個人消費が低調に推移しており、また米国経済の失速等による景気の二番底の懸念もあることから先行き不透明感が強く、依然として厳しい景況が続いております。

当社企業グループの主要な顧客である国内半導体関連及び液晶関連の製造業につきましては、中国を始めとする各国政府の景気拡大策やエコ推進策により、生産量および販売額とも回復基調となっておりますが、各顧客企業とも利益面での厳しさと先行きの不透明感から、設備投資に関しては引き続き極めて慎重な姿勢を崩していません。

当社企業グループが扱うEDA製品もこの影響を大きく受けており、また新規市場開拓のための新製品リリースも第4四半期以降になることから、既存顧客の増設、新規開拓とも引き続き厳しい状況で推移しております。他方、好調な韓国市場や中国市場に対して、優位性の高い製品を中核とした設計フローの提案を積極的に推し進めておりますが、短期的な成果をあげるまでに至っておりません。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,083百万円（前年同四半期比34.3%減）となり、営業損失は63百万円（前年同四半期は営業利益264百万円）、経常利益は6百万円（前年同四半期比97.9%減）、四半期純損失は5百万円（前年同四半期は四半期純利益74百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当第3四半期連結会計期間末の総資産、負債、純資産の概況

総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して93百万円減少し2,733百万円となりました。内訳としては、流動資産が95百万円減少し1,378百万円、固定資産が1百万円増加し1,354百万円となりました。流動資産が減少した主な要因は、現金及び預金が3百万円増加し1,074百万円となりましたが、受取手形及び売掛金が81百万円減少し216百万円、繰延税金資産が17百万円減少し22百万円となったことによるものであります。固定資産が増加した主な要因は、無形固定資産が7百万円減少し33百万円、敷金の回収・差入れによる差額などで投資その他の資産のその他が30百万円減少し50百万円となりましたが、有形固定資産が18百万円増加し39百万円、繰延税金資産が22百万円増加し230百万円となったことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比較して49百万円減少し330百万円となりました。流動負債が減少した主な要因は、前受金が54百万円増加し195百万円となりましたが、買掛金が5百万円減少し57百万円、未払法人税等が25百万円減少し3百万円、賞与引当金が62百万円減少し17百万円となったことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して44百万円減少し2,403百万円となりました。純資産が減少した主な要因は、四半期純損失の5百万円と、剰余金の配当38百万円によるものであります。また自己資本比率は前連結会計年度末の86.6%から87.9%となりました。

(2) 当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、1,074百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比で189百万円（78.2%）減少し52百万円となりました。主な要因は、前受金の増加が54百万円、売上債権の減少が81百万円が計上された一方、税金等調整前四半期純損失が8百万円、賞与引当金の減少62百万円、仕入債務の減少5百万円、法人税等の支払額が25百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、前年同期比で337百万円（97.0%）減少し10百万円となりました。主な要因は敷金の回収による収入が49百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が30百万円、事務所移転にともなう敷金の差入による支出が17百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期と同額の38百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年10月20日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知おきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前第3四半期連結会計期間において流動負債の「その他」に含めておりました「前受金」は、第1四半期連結会計期間におきまして負債及び純資産の合計額の100分の10を超える金額となりましたので区分掲記しておりますが、当第3四半期連結会計期間におきましても継続して区分掲記しております。なお前第3四半期連結会計期間の「前受金」の金額は、213,380千円であります。

前第3四半期連結累計期間において「受取研究開発助成金」と表示しておりました勘定科目は、前連結会計年度末においてXBRL化に伴い「助成金収入」に変更していることから、当第3四半期連結累計期間では「助成金収入」に変更して表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

株式会社ジーダット(3841) 平成22年3月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,074,396	1,070,778
受取手形及び売掛金	216,972	298,703
たな卸資産	11,620	13,180
繰延税金資産	22,570	39,963
その他	55,778	54,821
貸倒引当金	△2,500	△3,400
流動資産合計	1,378,839	1,474,046
固定資産		
有形固定資産	39,657	21,063
無形固定資産	33,159	40,466
投資その他の資産		
長期貸付金	1,433	3,518
繰延税金資産	230,159	207,281
長期預金	1,000,000	1,000,000
その他	50,470	80,561
投資その他の資産合計	1,282,062	1,291,361
固定資産合計	1,354,879	1,352,891
資産合計	2,733,718	2,826,938
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,488	63,239
未払法人税等	3,497	28,900
賞与引当金	17,460	80,226
前受金	195,324	—
その他	56,419	206,915
流動負債合計	330,190	379,282
負債合計	330,190	379,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	787,729	831,547
自己株式	△32,676	△32,676
株主資本合計	2,405,618	2,449,435
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△2,090	△1,780
評価・換算差額等合計	△2,090	△1,780
純資産合計	2,403,527	2,447,655
負債純資産合計	2,733,718	2,826,938

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,649,083	1,083,948
売上原価	471,193	355,074
売上総利益	1,177,889	728,874
販売費及び一般管理費		
役員報酬	32,650	32,535
給料及び手当	283,179	232,402
賞与引当金繰入額	22,148	8,775
研究開発費	306,576	307,568
その他	268,518	210,656
販売費及び一般管理費合計	913,073	791,938
営業利益又は営業損失(△)	264,816	△63,063
営業外収益		
受取利息	8,503	10,500
投資有価証券売却益	2,000	—
受取研究開発助成金	17,424	—
助成金収入	—	57,680
その他	2,090	1,001
営業外収益合計	30,017	69,181
営業外費用		
為替差損	198	17
営業外費用合計	198	17
経常利益	294,635	6,101
特別損失		
投資有価証券評価損	121,940	—
固定資産除却損	—	3,134
事務所移転費用	—	11,000
特別損失合計	121,940	14,134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	172,695	△8,033
法人税、住民税及び事業税	95,703	2,869
法人税等調整額	2,302	△5,485
法人税等合計	98,005	△2,616
四半期純利益又は四半期純損失(△)	74,689	△5,417

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	414,609	388,958
売上原価	145,943	124,697
売上総利益	268,666	264,260
販売費及び一般管理費		
役員報酬	11,850	10,845
給料及び手当	75,469	67,108
賞与引当金繰入額	22,148	8,775
研究開発費	92,241	113,468
その他	97,577	75,902
販売費及び一般管理費合計	299,286	276,099
営業損失(△)	△30,619	△11,838
営業外収益		
受取利息	2,462	4,254
助成金収入	—	4,555
その他	271	2,272
営業外収益合計	2,734	11,081
経常損失(△)	△27,885	△757
特別損失		
投資有価証券評価損	121,940	—
特別損失合計	121,940	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,825	△757
法人税、住民税及び事業税	△24,347	△145
法人税等調整額	15,588	484
法人税等合計	△8,759	339
四半期純損失(△)	△141,066	△1,096

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	172,695	△8,033
減価償却費	13,269	16,267
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,600	△900
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46,879	△62,766
受取利息	△8,503	△10,500
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,000	—
投資有価証券評価損益(△は益)	121,940	—
固定資産除却損	—	3,134
移転費用	—	11,000
売上債権の増減額(△は増加)	140,203	81,730
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,283	1,559
仕入債務の増減額(△は減少)	△74,097	△5,751
前受金の増減額(△は減少)	102,121	54,556
その他	△17,679	△13,837
小計	411,753	66,459
利息の受取額	10,314	12,406
法人税等の支払額	△179,725	△25,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	242,342	52,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,464	△30,297
無形固定資産の取得による支出	△38,469	△645
投資有価証券の売却による収入	2,000	—
貸付金の回収による収入	2,024	2,054
敷金の差入による支出	—	△17,654
敷金の回収による収入	—	49,390
定期預金の預入による支出	△300,000	—
その他	859	△13,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348,050	△10,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△38,400	△38,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,400	△38,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△666	△310
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△144,774	3,618
現金及び現金同等物の期首残高	1,348,367	1,070,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,203,592	1,074,396

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
該当事項はありません。